

市バス車両の変遷

開業当初は電気バスを採用。徳島市交通局より借用したバスをはじめ、最盛期には11台が走行していました。しかし燃料事情の好転により、1952年にはディーゼル車やガソリン車に置き換えられました。また、フォード製ガソリン車（戦前製中古車）も在籍していましたが、市会議員の巡察用車として使用されました。

1954年には全国でもいち早くワンマンカーを導入しました。またこの年から、購入車は全てディーゼル車となり、リアエンジン車も購入される様になりました。一方、ボンネット車は1960年を最後に購入されなくなりました。

1971年には、従来の灰色&濃紺に朱色（ワンマン専用車は白色）の帯を巻いたデザインから、クリーム色の車体に小豆色の帯を巻いたデザインに変更され、ワンマン専用車の全車と、ワンツーマン車の一部も新塗装に塗り替えられました。なお、灰色基調の旧塗装車は、1981年（昭和56年）3月を最後に姿を消しました。

1986年から、「虹バス」と呼ばれる虹をイメージしたデザインを採用しました。現在走行する車両は、原則としてすべてこのデザインです。2008年には国土交通省近畿運輸局より「第1回バリアフリー化推進功労者」として表彰を受けました。2004年には経費節減のため全車両の方向幕をLEDを用いた電光式表示機に一齐に変更。側面のLED表示器は経由地を通過するとその経由地を表示から消してゆくため、終点付近では行先部分のみ表示が残ります。また、後面のLED表示機はドアが開いている際には、行先と「乗降中」を交互に表示します。

車体製造は、開業当初の電気バスは市内の工場にて造られましたが、以後はいすゞ自動車製か三菱ふそう製が中心で、ごく少数の日野自動車製バスが在籍していました。1984年になって、初めて日産ディーゼル（現:UDトラックス）製の車両が購入され、1986年には日野自動車製のバスも再度購入されるようになり、以後4大メーカーが揃うようになりました。

車両には交通局独自の車番が付与され、当初は車種別でした。電気バスは"E-XX"、ガソリン車は"G-xx"、ボンネット車は"B-xxx"（のちDF）、リアエンジン車は"DR-xxx"、アンダフロアエンジン車は"DU-xxx"とされていましたが、1965年の"兵2あ"から"神戸2き"へのナンバー切替時に、"A-xxx"に統一されました。さらに1985年からは、ハイフンの前に購入年度を書くようになり、10-177といった形で表記されました。また、ハイフンの後の3桁は車種別の番号となっており、100番台=三菱ふそう、500番台=いすゞ自



ボンネットバス「いすゞBX」 女性車掌が添乗



観光用バス「むこがわ号」1970年導入 通称「オバQ」



1971年導入「ふそうMR410」通称「カマボコ」



旧塗装復刻バス(2015年)



車番「A」尼崎交通事業振興委託車両
「15」平成15年度購入 「834」800番台日野製

動車、700番台＝日産ディーゼル(現:UDトラックス)、800番台＝日野自動車製を割り当てています。なお、1985年～1987年度購入の中型車は、ハイフンの後が2桁となり、01～が三菱ふそう、51～が日野に割り当てられていました。なお、2010年度には尼崎交通事業振興に三菱ふそうの新車が導入されましたが、車番は200番台が割り当てられました。尼崎交通事業振興の委託車両については、前面車番の脇に赤い丸囲みの「A」の印を入れて区別しています。

貸切車は、尼崎競艇場および園田競馬場観客輸送に従事する路線バスからの転用車(路線車が乗合と表記されている箇所に「貸切」のプレートが貼付)と、尼崎交通事業振興が所有する観光バスがありました。観光バスは、元々尼崎市交通局の所有で各車愛称を付けられていました。(車番なし)

かつては一般貸切にも使用されていましたが、のちに老人研修バスに転用されました。



休日は国旗が飾られていました

東日本大震災 市バスは救援物資を載せて現地へ

2010年度で廃車となるノンステップバス第1期車(1998年式)9台はYahoo!オークションで売却される予定でしたが、1台に変更されました。オークション売却とならなかった車両のうち、5台は東日本大震災の被災地である気仙沼市へ譲渡されることになり、救援物資を載せて現地へ送られました。気仙沼市では、ミヤコーバスの路線バスとして使用され活躍しました。また、残り3台は、別の事業者へ譲渡されました。最近では、廃車になった車両をオークションに掛けて売却する事が一般的になり、北海道から沖縄までの一部事業者で、元々尼崎市交通局の車両を見る事ができます。市バスは68年の長い歴史に幕を閉じましたが、その活躍の痕跡は、今も市内や全国各地の譲渡車両にしっかりと残っています。



被災地の気仙沼市へ救援物資を載せて現地へ送られた市バスの車両。塗装はそのままに、ミヤコーバスの路線バスとして使用され、活躍しました。